

公安委員会定例会議(第32回)の開催状況

- 第1 日時 令和7年12月24日(水)
午後2時10分 ～ 午後3時50分
- 第2 出席者 佐伯委員長、五葉委員、小野委員
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長、
刑事部長、交通部長、警備部長、警察学校長
通信施設課長、総務課長
- 第3 議事の概要
- 1 決裁事項
 - (1) 公安委員会定例会議会議録
総務室から、令和7年第31回公安委員会定例会議会議録について伺いがあり了承した。
 - (2) 愛媛県公安委員会における情報セキュリティ基本方針の制定
総務室から、愛媛県公安委員会における情報セキュリティ基本方針の制定について伺いがあり了承した。
 - (3) 公安委員会表彰(感謝状)の伺い
交通部から、公安委員会表彰(感謝状)について伺いがあり了承した。
 - (4) 交通規制の実施
交通部から、交通規制の実施について伺いがあり了承した。
 - (5) バス停留所における駐停車の合意
交通部から、バス停留所における駐停車の合意について伺いがあり了承した。
 - (6) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞
交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、17件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。
 - 2 報告事項
 - (1) 令和7年度12月補正予算の概要
警務部長から、令和7年度12月補正予算の概要について報告があった。
委員から「信号灯器のLED化に関する補正予算が認められた。視認性の悪い信号機は是非とも更新して交通事故抑止に努めてほしい」との発言があった。
委員から「信号灯器のLED化により、交通事故リスクが60%減少し、更には、消費電力の減少、寿命の長期化により各種保守工事も減少となる。非常に良い取組であるため、この取組が交通事故発生数の減少に寄与することを祈念している」との発言があった。
委員から「LED化された信号灯器は、非常に視認性が良いものであるため、今回の補正予算が認められたことは喜ばしい。交通事故抑止のため、今後も信号灯器のLED化を進めてほしい」との発言があった。

(2) 令和7年度鑑識・科学捜査技術研究発表会の開催結果

刑事部長から、令和7年度鑑識・科学捜査技術研究発表会の開催結果について報告があった。

委員から「近年科学技術が進み、指紋や防犯カメラ、DNA資料などにより検挙に結びつくことが多い。今回のように各職員が工夫を凝らし、研究発表を行うことで技術力や捜査力を高めることは非常に重要であり、これからも是非とも頑張ってもらいたい」との発言があった。

委員から「研究により実用的になる物は百に一つあれば良いと言われるが、今回受賞されたものは実用性もあり、評価に値する。日々の研究で生み出されるものが、事件の迅速な解決に至ることもあるため、地道に研究を継続してほしい」との発言があった。

委員から「報告を受けた研究結果は、身近な物を使い、予算もかけずにアイデアで生み出した手法であり、非常に素晴らしく、現場の力を感じた。今後も職員相互に協力して研究に励み、頑張ってもらいたい」との発言があった。

(3) 官民連携による国際テロ及びサイバーテロ対策の推進状況

警備部から、官民連携による国際テロ及びサイバーテロ対策の推進状況について報告があった。

委員から「サイバーテロ対策については技術が日々進歩していることから、引き続き気を抜かずに取り組んでほしい」との発言があった。

委員から「テロというのはいつ、どこで起きるのか、どのような形態で起きるのか予測できないため、日頃から情報収集に努め、未然防止と有事の対応をしっかりとしてほしい」との発言があった。

委員から「テロ対策に官民一体となって対応していただき、一県民として感謝申し上げます。これからも県民の安全安心な生活を守るため、関係各所と連携を密にし、情報収集及び各種未然防止活動を徹底してほしい」との発言があった。

(4) 監察案件に関する報告

警務部から、監察案件に関する報告があった。

(5) 行政手続きにおけるオンライン申請の運用開始

警務部から、行政手続きにおけるオンライン申請の運用開始に関する報告があった。

以上